

2019J2 ■順位表 ■暫定：第24節

勝点、得失点差、得点、失点、
岐阜戦の戦績（岐阜から視て）

| | | | | | | | |
|-----|------|-----|-----|----|----|-----|-----|
| 1 | 京都 | 46p | +13 | 36 | 23 | H△ | A● |
| 2 | 柏 | 46p | +11 | 27 | 16 | A● | |
| 3 | 水戸 | 43p | +13 | 30 | 17 | H● | |
| 4 | 山形 | 43p | +11 | 27 | 16 | HO | |
| 5 | 大宮 | 42p | +14 | 34 | 20 | A● | |
| 6 | 岡山 | 40p | +3 | 31 | 28 | HO | |
| 7 | 横浜FC | 38p | +8 | 36 | 28 | A● | |
| 8 | 長崎 | 37p | +5 | 33 | 28 | H● | |
| 9 | 甲府 | 36p | +9 | 35 | 26 | A● | |
| 10 | 金沢 | 35p | +11 | 29 | 18 | H● | |
| 11 | 東京V | 35p | +1 | 33 | 32 | H● | |
| 12 | 徳島 | 34p | +2 | 28 | 26 | A● | |
| 13 | 新潟 | 33p | +7 | 37 | 30 | H● | |
| 14 | 琉球 | 28p | -6 | 33 | 39 | HO | |
| 15 | 山口 | 27p | -1 | 37 | 38 | A● | |
| 16 | 千葉 | 27p | -8 | 28 | 36 | A● | H△ |
| 17 | 町田 | 25p | -16 | 20 | 36 | H● | |
| 18 | 愛媛 | 23p | -10 | 20 | 30 | A● | |
| 19 | 福岡 | 21p | -16 | 23 | 39 | AO | |
| *20 | 鹿児島 | 20p | -14 | 21 | 35 | H△ | |
| 21 | 栃木 | 20p | -15 | 19 | 34 | A△ | |
| *22 | 岐阜 | 16p | -21 | 18 | 39 | --- | --- |

注)*は消化試合が1足りない

today's guest : 大宮アルディージャ

2018 J2 21勝 8分 13敗 勝ち点71: 5位

| 直近の対決と結果 | |
|------------------|-----------------|
| 2019/06/15 | J2 - 18節 @ NACK |
| 大宮 2-1 岐阜 | 山岸祐也 scored. |

| ここ3試合の公式戦の結果 | | |
|--------------|---------------------------|---------------------------------------|
| | FC岐阜 | 大宮アルディージャ |
| 2019/07/27 | J2 - 24節 @ 西京極 京都 2-1 岐阜 | 2019/07/27 J2 - 24節 @ NACK 大宮 1-0 山口 |
| 2019/07/14 | J2 - 22節 @ 長良川 岐阜 2-2 千葉 | 2019/07/20 J2 - 23節 @ 西京極 京都 3-2 大宮 |
| 2019/07/06 | J2 - 21節 @ レベスタ 福岡 1-3 岐阜 | 2019/07/13 J2 - 22節 @ NACK 大宮 6-0 鹿児島 |

●北野監督体制になり、7/6 (土) 第 21 節で初勝利を挙げた FC 岐阜。そして 2019 年シーズン後半戦の初戦、7/14 (日) 第 22 節・ホーム戦に千葉を迎えての一戦は、前半に岐阜が先制し、千葉に追いつかれるものの後半に再び突き放す展開。その後、千葉に押し込まれて耐え続けたものの、試合終了間際に失点し、2-2 でのドロー。惜しくも勝ち点 1 を分け合う結果となった。続く 7/20 (土) 第 23 節・アウェイ鹿児島戦は、台風 5 号の影響による雷雨のため中止。そして、7/27 (土) 第 24 節・アウェイ京都戦は、首位の京都を相手に先制されるも #10 ライアンのゴールで同点に。後半は PK で再びリードを許してしまい、終盤に攻勢を掛けるが追いつくことが出来ず、惜しくも 1-2 で悔しい敗戦となった。

この結果、FC 岐阜は鹿児島との 1 試合を残しつつ、順位は最下位・22 位のまま。21 位・栃木及び 20 位 (暫定)・鹿児島とは勝ち点差が 4 あるため、1 勝してもまだ届かない位置にいるものの、現時点での勝ち点差 6 以内に 19 位 (暫定)・福岡が、勝ち点差 9 以内に 17 位・町田がいる。残り 19 試合、まだまだ諦める状況では全くない。もちろん楽観視できる状況でもないが、悲観もせず、毎試合を最後まで全力で戦い抜き、勝ち点を、そして勝利を積み上げていくことで、この状況を打開してゆくしかない。

また、7/19 (金) から 8/16 (金) まで Jリーグは第 2 ウィンドー (登録期間) が開かれ、各チームとも戦力補強をする時期となった。岐阜も #38 塚川孝輝 (松本)、#39 馬場賢治 (大分)、#29 ジュニオール・バホス (甲府) を期限付き移籍で獲得。彼らがチームにフィットして活躍してくれることを期待したい。

さて、中 3 日で迎える真夏の 3 連戦、第 2 戦となる今節の対戦相手は大宮アルディージャだ。昨季は 1 年での J1 復帰を目指して 5 位に入り、プレーオフに進出したものの敗れた。今季は、前・長崎監督の高木琢也氏を監督に迎えて再び J1 復帰を目指しているチームだ。今季は 5 連勝を含む 16 戦無敗などで、一時は自動昇格圏である 2 位にまで順位を上げていたが、直近 5 試合では 2 勝 1 分 2 敗で、現在は 5 位と少し調子を落としている。しかし、今もなおプレーオフ圏内だし、首位との勝ち点差も 4 と J2 優勝も夢ではない。我々を倒して再び勢いを取り戻そうと、非常に高いモチベーションで岐阜に乗り込んでくるだろう。厳しい対戦相手となることは間違いない。

大宮との通算対戦成績は、岐阜の 1 勝 4 敗・3 得点 13 失点。今シーズン前半の対戦である、6/15 (土) 第 18 節・アウェイ戦は、先制されるも #9 山岸祐也のゴールで追いつく。後半も大宮の猛攻を堪え忍ぶ岐阜だったが、試合終了直前、アディショナルタイムにシュートを決められ、まさかの 1-2 での敗戦。そして大木武・前監督が退任することとなった。今節は、そのリベンジを果たすためにも是非とも勝利を掴み取りたい。

大宮で最も注意しなくてはならない選手には、現在 10 得点の #22 ファンマ・デルガドと、3 得点の #9 ロビン・シモヴィッチを挙げる。この 2 人の大型 FW が同時に出場することは考えにくい、どちらかが 1 トップとして攻撃の起点になることは間違いないだろう。そしてもちろん、彼ら 2 人を自由にさせないことも重要だが、彼らへのボール供給源や、あるいはこぼれ球を狙ってくる選手にも注意が必要だ。残念ながら守備の柱・キャプテンの #2 阿部正紀が累積警告により 2 試合出場停止なのが岐阜にとっては痛い材料だが、代わりに出場する選手たちの活躍、そして大宮の攻撃陣を抑えるための北野監督の采配に期待したい。

例年よりは遅かったものの、岐阜県にも梅雨明け宣言が出され、いよいよ岐阜の猛暑がやってきた。ナイトゲームとはいえ、選手たちには厳しいコンディションだ。しかも中 3 日で大宮が相手。だからこそ、僕ら FC 岐阜サポーターの力が求められているはずだ。平日開催ではあるが、僕らの拍手と声援で、選手たちを鼓舞し、最後まで走り続ける選手たちの背中を押し続けよう。そして、このホーム・長良川で、歓喜の万歳四唱を選手たちと分かち合い、FC 岐阜の“梅雨明け”を宣言しよう。(ささたく)

次回HomeGame

第27節 vs. アビスパ福岡
8/11 (日) 18:00
@岐阜メモリアルセンター
長良川競技場

大酒場 ホームラン
名鉄岐阜駅前 (三菱UFJ銀行隣り)
年中無休 午後3時から営業
TEL.058-263-5201

Living in Woods
本庄工業株式会社
http://www.honjo-woodream.com/

「いらっしゃいませ」より
「おかえりなさい」が似合う
アットホームな韓国料理店。
『チヂミ屋』は
JR岐阜・名鉄岐阜駅から徒歩 3 分。
休:月曜日

投稿募集 !! gidaidohri@gmail.com

【第22節】 岐阜 2-2 千葉

●前回の対戦では1-5で大敗した千葉が相手。しかし、北野監督となって守備面が整備されてきた岐阜。前節には福岡に勝利してチームには勢いがあるはず。ここで連勝すれば更にチームに勢いが出る。勝ちたい試合だ。

そして試合開始からいきなり、岐阜のチームの勢いが得点として現れる。千葉のゴール前で#10 ライザがボールをキープすると、後ろで待っていた#11 前田遼一が左足を振り抜き、そのシュートが千葉のDF陣そしてGKの脇をすり抜けてゴール！えーと、前半5分？福岡戦の前半10分の先制点も早いなあと思ってたけど（苦笑）、こんなに早くに先制したのって、いつぶり？と調べてみたら、10分以内の得点は17年第42節・アウェイ山形戦以来（1-4でボロ負けしたけど）でした。

しかし、ここからは我慢の時間帯。先制点の前にも大ピンチがあったし、その後も千葉のペースで試合が進む。だけど、これは北野サッカーでは想定内の範囲内だろう。しっかり守備ブロックを作って千葉の突破を許さない。となると、これまでの対戦相手と同様に、たぶん北野サッカー“塹壕”の攻略方法として、ブロックの外からクロスを上げて、中央の選手の個の力で勝負…というのは誰もが考えるやり方なのでしょう。そして、やっぱり中央に上げられたクロスをも#9 クレーベに押し込まれて同点…。うーん、精度の高いクロスを上げさせないためにと不用意に飛び出すと、ブロックが崩れるからなあ…このあたりの守備陣形をどうやって改善していくかが、重要な課題のひとつかもしれない。

後半も我慢する展開になるなあ…と思ったら、CKのサインプレーで、#31 宮本航汰がミドルシュートを決めて追加点！後半すぐのチャンスを決めて駆け寄ってくる選手たちに、沸き立つスタジアム。だけど、ここからがまた長かった（苦笑）。なんども千葉の攻撃を跳ね返す岐阜の守備陣。しかし、せっかくボールを奪った後のパスの精度がまだ悪くてボールを失い、すぐに再び守らざるを得なくなり、精神的にも肉体的にも疲労が増加してゆく岐阜。それでも、勝利まであと少し、あと少し…しかし、最後に岐阜の選手たちの足が止まり、守備ブロックが崩れたところを押し込まれて同点…（溜息）。僕の中では、掴みかけた勝利が掌をすり抜けてしまったという感覚と、何度も決定機を防いで勝ち点1は手に入れたという感覚とが、複雑に入り混じっていた。

試合後の北野監督の「残り5分、立ち上がりの5分の失点というのは監督の責任」という発言には、良い意味で驚かされた（笑）けれど、これからはしっかり鍛える、という意味だと僕は思った。最後になっても走り続けられる、そして勝てるサッカーを、よろしく願います！（ささたく）

●う～ん、またしても最終盤での失点か。ノドから手が出るほど欲しい勝ち点3をつかみ損なつたのはホントに惜しい。連勝することで福岡戦の勝利が何倍もの意味を持つ状況にすることが出来ただけだね。実に惜しい。

失礼を承知で申し上げるが、今の千葉なら勝てるかと踏んでた。いや、ここ最近の様子から見て「今の千葉には勝たなきゃならない。」ぐらいに思ってたことを懺悔しておきます。そして、前田神のゴールが決まった時にはフクアリでの雪辱を果たすことを信じて疑わなかったただけだね。サッカーの神様もなかなかキビシイ。

試合展開としては申し分がなかった。開始早々の先制点。久々の、早い時間の、そして流れるような連携からのエースの得点。追いつかれた後のCKからのサインプレー。それも航汰のミドルという、夢のような、願ってもない流れでスタジアム全体が盛り上がり、久しぶりの『長良川劇場』で歓喜の中でフィナーレを迎える様子を脳裏に描いていたんだけど、やはり「勝負は下駄を履くまでわからない。」か。福岡相手にはそれが出来たような気がしないでもないが、それをコンスタントにやりきれないと現状を抜け出すこともできないし、ましてや、

残留なんて覚束ない。キツイことを言うようだけど、やり抜いてくれると信じてる。

とにかく、折り返しの初戦で勝ち点は手中に収めることはできた。手放しでほめることなどできないけれど、最低限の結果は出せた。次は、ほぼ直接対決、6ポイント・マッチの鹿児島戦。天候は不穏だけど、勝利を信じて鹿児島へ向かいます！（ぐん）

【第24節】 京都 2-1 岐阜

●台風5号の影響で中止となったアウェイ・鹿児島戦に続き、台風6号で開催が（若干？）危ぶまれたアウェイ・京都戦。それでも、多くの岐阜サポがアウェイの地に駆け付けた。前日には長良川の花火大会の延期が決まったことも影響したかしら？（苦笑）しかし、雨の上がった京都・西京極は、もう蒸すことといったら…（溜息）。この蒸し暑さで、岐阜の選手たちの足が早く止まってしまうかという不安を、僕は抱いていた。

首位・京都を相手に、しかもアウェイでの試合ということで、やはり相手にボールを支配され（「持たせて」と言う方が正しいのかも？）、我慢して守る時間が続く岐阜。一方の京都は、それまでの対戦相手とは若干異なり、岐阜の守備ブロックの外からクロスを狙うというよりは、ドリブルで突破を図り、対応のため岐阜の守備陣がスライドしたスペースに別の選手が入ってセカンドボールを拾う、といった攻略方法かなと僕は感じた。そして、我慢して走らされて、しかもこの蒸し暑さ。失点のシーンでは、少し岐阜の選手たちの集中力が欠けてしまっていたように感じた。ちょっと勿体ない失点、しっかり反省した上で、次に活かして欲しい。

上がったと思った雨が少し降ってきて、僕自身も息を吹き返した（苦笑）のだけど、岐阜の選手も勢いを取り戻した。新加入でスタメン起用された#38 塚川孝輝がボールを奪うとカウンターの仕掛け、出したボールを#10 ライザがシュート。ボールは相手DFに当たってゴールに吸い込まれ、同点ゴール！これが岐阜の前半唯一のシュートだったんですね、効率いいですね（苦笑）。

後半には新加入の#39 馬場賢治が投入されたけれど、やはり試合は京都のペース。岐阜の守備も上手く対応していたと思うんだけど、PKを与えてしまったシーンの直前は、何故か守備ブロックがポカリと空いてしまったような…#38 塚川のスライディングも、相手の後ろから入ってしまったので、PKを採られてしまっても仕方ないプレーだったかなと。これを、#10 庄司悦大に決められて2失点目。岐阜も何度かカウンターを仕掛けるんだけど、やはりロングボールやクロスの精度が悪く、決定的なチャンスをなかなか作れない。これは練習を積み重ねて、もっと精度を上げてほしい。試合終盤には京都の選手たちの足が止まり始め、岐阜のパワープレイから何度かチャンスが生まれるが、決めきれない。ただ、アディショナルタイムの#22 柳澤亘の決定機、あれは決めて欲しかった…『遂に来た！』って思って腕を振り上げた僕は膝から崩れ落ちましたよ…（溜息）。

それにしても、首位のホームスタジアムとは思えないようなピッチ状況でしたねえ…ウチの選手も相手の選手も、何度も滑って転んでました。もしかして、来季から亀岡の新スタジアムになるんで、西京極にはカネをかけない方針とかじゃないですか？（苦笑）

首位相手に健闘したとはいえ、悔しい敗戦。しかし結果、つまり勝ち点が欲しい今の状況では、下を向いている時間はない。次の試合に向けて気持ちを切り替えて、そして次こそ勝利を！（ささたく）

●う～ん……と、またしても唸ってしまう結末。いや、試合を通じての流れから言っても、試合のスタッツから見ても、至極妥当な結果、あるいは「なんで一点差なの？」と言われてもおかしくない結果なんだけどね。それでも、「王子……」と、

ついつい咬いてしまう(苦笑)アノ位置からなら当たり前の『ニアの上』を狙った一撃なんだろうけど、せめて枠に・・・というのは、やはり、観客席からの意見なんだろうな。ゴール前に味方はいたけど、アレはシュートが正解。撃たなかったら、サッカーの選手やってる意味がないだろ？くらの当たり前の選択。だから、決まらなかったのは仕方ない。次は決めよう、楽しみにしてるゾ。それと、復帰おめでとう>王子。

それにしても、よく耐えたな。前半から主導権を握られ、ことにウチの右サイドを制圧されて、失点はいずれもソコからだったか。匠も精一杯やってくれたけど、本来のポジションじゃないんでやむを得ない部分はある。交替はクロスの精度を求められてのことなんで仕方ない。次節から2試合はアベちゃんが有休なんで、そこをしっかりとカバーしてほしい。押し込まれればなしの展開でも唯一の決定機、たぶん、前半唯一のシュートを得点に結び付けて、絵に描いたような『首位と最下位の試合』だったんだけど、下剋上とはいかなかった。知人も言ってたが、せっかく奪ったボールをコントロールミスから相手に渡してばかりでは、そりゃあ、決勝点のような場面も作られるわね。それにしても、PKウマイなあ、京都の10番。誰だ、アイツ。ウチに来てくんないかな？つか、早よJ1戻れや(笑)。

今節も結果は残念だったけど、新戦力のババケンと塚川が計算できる選手なのがわかった。フロント、グッジョブ！でも『命懸け』なら、まだあるよね？ここまでの補強は及第点だけど、他のクラブも効果的な補強を実施中だ。現状を抜け出すための底上げが必要なのは最前線だけじゃない。

それにしても、実にたくさん駆けつけてたな、岐阜の仲間が。過去最高の参戦数じゃないのかな？千人近く？たくさん仲間と、最後の西京極、今まで勝ったことのない西京極での万歳四唱を心待ちにしていたけど、それは叶わず。来季の新スタジアムで、ご祝儀代わりにゴールを5つか6つくらい叩き込んであげます。来季もよろしくね？(ぐん、)

《第23節》延期になりました

●アウェイ鹿児島戦、自分自身初めて訪れる土地。いろいろと楽しみで意気揚々と乗り込んだのですが、雷のため残念ながら試合は中止に。

さて、どうしたものかと思っていたところに、Twitterで鹿児島ユニか岐阜ユニを着て来店すれば「さつま島美人」(鹿児島ユニナイテッドの胸スポンサーの焼酎)2時間飲み放題で500円というtweetを見つけ、これは行かねばという事で岐阜サポ3名で訪問(のちに1名追加)。

突き出しは6品も出していただけるし、さつま揚げはさすがに本場の味といった感じでした。そして、味噌味のモツと豚肉のもつ鍋が大変美味しゅうございました。もちろん、アフターのちゃんぽんや雑炊も！

試合が中止という事で、ともすれば気分が沈みがちになるところですが旅先で美味しいものに巡り合えるのも遠征の醍醐味の一つですね。(リベロ)

●空路で鹿児島入りしたはいいいものの、時折小降りになるとはいえ、強い雨が降り続き、ギリギリまでホテルで待機してみただけ、状況が変わらないため開場時間を逆算してタクシーで白波スタジアムへ向かったら、スタジアム手前の交差点での信号待ちの最中に運転士さんから「あれ？たくさん人が出て来てますよ。」と言われ、顔を上げたらちょうど横断報道を渡る顔見知りの岐阜サポさんと目が合った。途端に、その岐阜サポさんが顔の前で大きく両手をクロス。その瞬間に状況を察したが、それでも一応車を降りて、帰宅の途に着く鹿児島サポさんに尋ねると、何とも言えぬ顔で「中止です」と。このクラブを応援し始めてから2回目の悪天候による順延となってしまった(アルウィンの時は諸事情により参戦できなかった)。

決定後の雨の降り方なら開催は可能と思われたが、雷が予想

されるとあればしかたがない。実際、スタジアムを含む市内には影響がなかったものの、鹿児島空港の滑走路に落雷。日曜日の便には欠航や遅延が相次いだので、今回の判断は正しかったといえるだろう。何かあってからでは取り返しがつかないのだ。

で、試合がなくなって困ったのは『呑む時間がタップリできたこと』(笑)。どこに行こうか迷ったけど、鹿児島一番の繁華街・天文館にあるモツ鍋屋さんが『ユニを着たお客さんなら、鹿児島サポでも岐阜サポでも『さつま島美人』を2時間飲み放題で500円！』とツイートしてくれてたので遠慮なく押しかけた。ちなみに『さつま島美人』とは、鹿児島の胸スポンサー様の芋焼酎。呑まないワケにはいかない。あ、500円なのは焼酎だけで肴は別料金です、念のため。ただし、こちらのモツ鍋、とんでもなく美味かった！今まで食べたモツ鍋の中で一番美味かったかもしれない。順延された試合は、たぶん平日の開催になる。試合の日に行くことは難しいだろうが、鹿児島を訪れる際の楽しみが増えた。そう考えると、試合の順延も悪くない……のかもしれないな(苦笑)。(ぐん、)

7/28 時点のJ3順位表。

●今年も、この仕事をしなければいけなくなりました。『岐大通』に梅雨明けを告げる(苦笑)「J3順位表」の時期でございます。

| | | | | | | | |
|-------|-----|-----|-----|----|----|------|------------|
| 1 | 藤枝 | 34p | +9 | 26 | 17 | 残り16 | |
| 2 | 熊本 | 33p | +5 | 28 | 23 | 残り16 | ★2019ライセンス |
| ----- | | | | | | | |
| 3 | 北九州 | 31p | +8 | 23 | 15 | 残り16 | ★2019ライセンス |
| 4 | 鳥取 | 30p | 0 | 30 | 30 | 残り16 | ★2019ライセンス |
| 5 | 群馬 | 29p | +15 | 33 | 18 | 残り16 | ★2019ライセンス |
| 6 | C阪U | 27p | -3 | 30 | 33 | 残り16 | |

J2への昇格は「J3の上位2チーム」で「2020のJ2ライセンス所持クラブ」、が条件です。G大阪、C大阪、FC東京のU-23チームは昇格対象になりません。2位以内に入った「J2ライセンス所持クラブのチーム(U-23を除く)」の数だけ、J2からJ3への自動降格となります。つまり、もしライセンス不所持のチームが上位2位以内に1つ入れば、J2の21位は残留になります(2つ入れば、J2からの降格はなくなります)。来年度のクラブライセンスは、通例ですと9月末に発表になります。

『岐大通』ではFC岐阜のJ2残留が決まるまで、J3情報を掲載していきます。(編集人：吉田鎬造)

